

# 今昔物語

その29

## 飛雪の滝

浅里地区



故尾崎新一郎著「郷土浅里の歩み」より転載

今回は、浅里地区の飛雪の滝の写真をご紹介します。

この写真は昭和63年ごろに撮影されたものだそうで、現在では、飛雪の滝キャンプ場の健康増進広場などがある場所に、田んぼが広がっています。また、写真では竹林の奥に滝が見えますが、普段は滝の姿が目立たないほど竹林が生い茂っていたそうです。

当時の様子を地元の方に伺ったところ、田んぼの真ん中にあったあぜ道を通り滝つぼで水遊びや釣りなどをして遊んでいたそうです。

また、紀宝町誌によると、かつてはこの飛雪の滝から上流にある二の滝にかけて浅里神社の神域とされ、原始宗教時代の御神体だったそうです。そのため、昔は午後6時以降に滝へ行くことを禁じられていたそうです。

平成7年ごろに健康増進広場が整備され、さらに今年、直売・集客交流拠点施設などが建設され、現在の飛雪の滝キャンプ場の姿となりました。



現在

## ひやうひや

### 似顔絵を描いてもう いました！

前回の広報きほうのひとりごとから早くも1か月が経ちました。先月の広報で似顔絵をどうするか迷っていたという話をしましたが、知り合いに無理を言っただけで似顔絵を描いてもらいました。どうもありがとうございました。

僕の壊滅的に下手な似顔絵を披露しようと思いましたが、「画伯」と呼ばれるのが目に見えているので今回はやめておきます。もしかすると、そのうち披露する日が来るかもしれませんが、その時は温かい目で見守ってください。

話は変わりますが、初めて車を買いました。僕は、スバルが国内で唯一、水平対向エンジンを採用していることがきっかけで好きになり、スバルの車にしようとしていました。これで晴れて僕も「スバリスト」の仲間入りです。

車種は、若い衆でも書きましたが、長い間憧れていたインプレッサを買いました。詳しく言うと、インプレッサといっても、マイナーチェンジによりインプレッサの名前が外れたWRX STIという車です。スバリストは、個性的な人が多いと言われますが、自分も変わりものなのでご安心ください(笑)。

初めての自分の車ということ、大切な相棒になれるよう大事に乗りつつ、日本全国いろんなところへ行ってみたいと思います。

(似顔絵がさわやかすぎる?! 田中健太郎)

(今回のひやうひやはお休み 愛野裕基)



田中健太郎  
似顔絵師